

2010年3月期 決算補足資料

1. 決算概観	P. 1
2. 2010年3月期 業績のポイント	P. 2
3. 2010年3月期 業績の状況	P. 3
4. 主な子会社の業績と予想	P. 4
5. 開発品一覧	P. 5～7
6. 損益計算書の概要	P. 8～9
7. 貸借対照表の概要	P. 10
8. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P. 11
9. 主要製品売上の状況	P. 12
10. 主な業績項目の推移	P. 13
11. 杏林製薬単体資料	P. 14～17

2010年5月11日

株式会社キョーリン



2010年3月期 決算概観(連結)

2010年3月期 連結業績(実績)

【売上】 国内新医薬品における主要製品が好調に推移し、後発医薬品の売上も増加した結果、売上高は998億円(前年同期比9.8%増)となり、過去最高の売上高を達成しました。

【利益】 日清キョーリン製薬(株)の統合により販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上増加及び売上原価率の改善により売上総利益が大幅に増加し、営業利益は133億円(前年同期比48.1%増)、当期純利益は88億円(前年同期比334.3%増)と、過去最高益を達成しました。

2011年3月期 連結業績(予想)

【売上】 薬価改定の影響、連結子会社の決算期変更による影響などがあるものの、国内新医薬品における主要製品の伸長により吸収し、売上高は1,003億円(前年比0.5%増)と増収を見込みます。

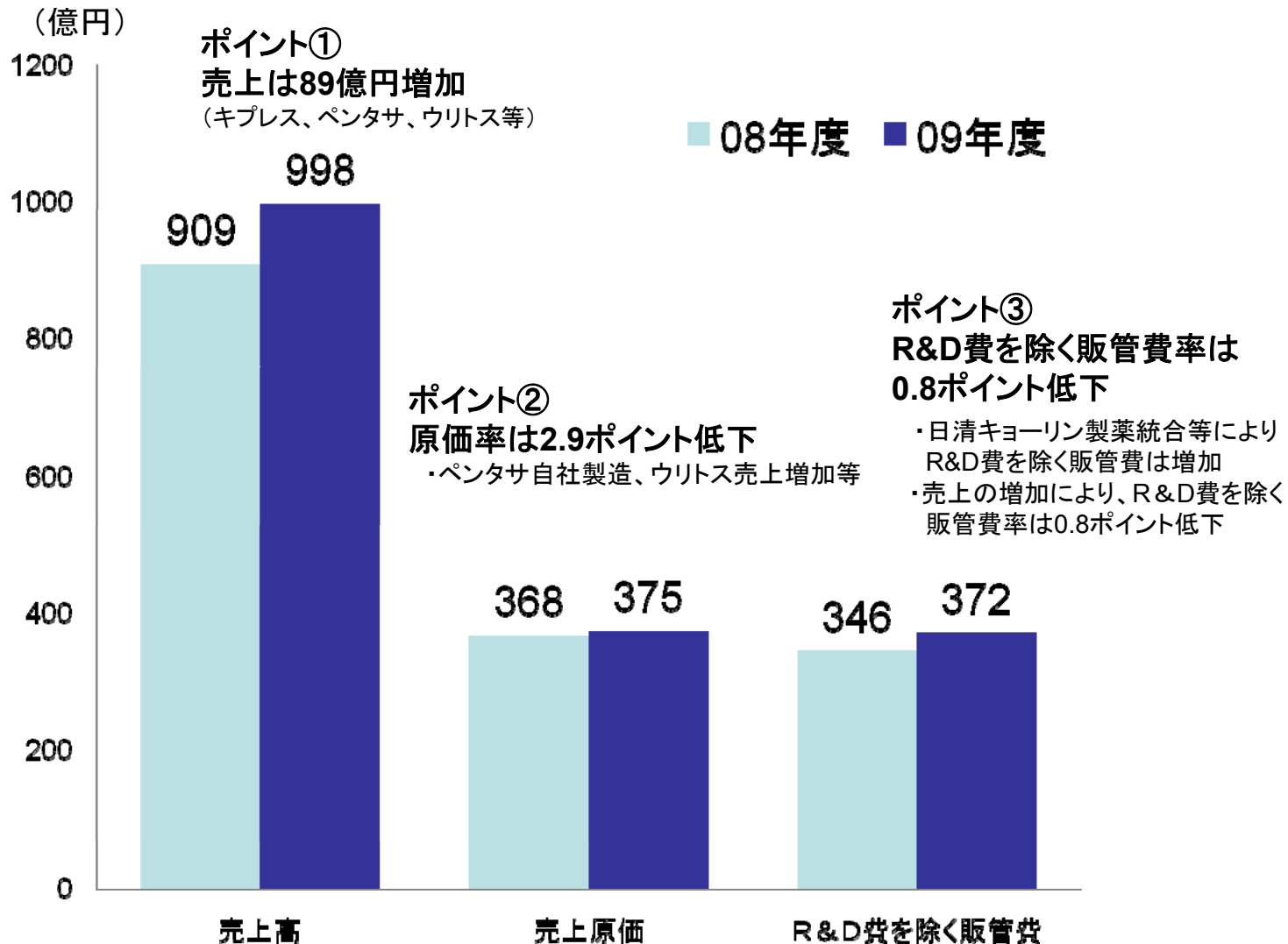
【利益】 研究開発費の増加等が予想されるものの、売上増加、売上原価率の低減により、売上総利益の増加を見込み、その結果、営業利益127億円(前年比4.2%減)、当期純利益85億円(前年比3.9%減)と、ほぼ横ばいとなる見込みです。

単位: (百万円)	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	前年比
売上高	77,093	81,070	90,889	99,764	9.8%
営業利益	8,413	6,251	8,952	13,261	48.1%
経常利益	8,655	6,643	9,208	14,234	54.6%
当期純利益	4,842	2,189	2,037	8,848	334.3%
EPS	64.97円	29.26円	27.24円	118.37円	334.5%
総資産	124,039	122,398	124,552	137,190	10.2%
純資産	98,178	97,184	96,501	104,911	8.7%

11年3月期 (予想)	前年比
100,300	0.5%
12,700	▲4.2%
13,400	▲5.9%
8,500	▲3.9%
113.72円	▲3.9%
—	—
—	—

2010年3月期 業績のポイント

営業利益90億円から133億円へ43億円増加 ・営業利益率は13.3%と3.5ポイント上昇



2010年3月期 業績の状況(連結)

単位:億円

	09年3月期 (実績)	10年3月期 (実績)	前年 同期比
売上高 合計	909	998	+89
◆新医薬品	757	824	+67
国内	719	798	+79
海外	38	26	▲12
◆後発医薬品	63	86	+23
◆ヘルスケア	77	72	▲5
◆その他	12	16	+4
営業利益	90	133	+43
経常利益	92	142	+50
当期純利益	20	88	+68

■ 売上高

998億円

前年同期比

●国内新医薬品

798億円

(+89)

(+79)

09.3実績

10.3実績

・キプレス	252	→	292	(+40)
・ペンタサ	157	→	194	(+37)
・ウリトス	20	→	37	(+17)
・ムコダイン	206	→	209	(+3)

*その他 ラピッドテストの売上増加等

●海外新医薬品

26億円

(▲12)

・ガチフロキサシ	25	→	22	(▲3)
----------	----	---	----	------

・ActivXの売上減少等

●後発医薬品

86億円

(+23)

・追補品/重点商品による売上増加、決算期の変更(連結対象期間;14ヶ月)

●ヘルスケア

72億円

(▲5)

・ミルトン	18	→	19	(+1)
・ドクタープログラム社	41	→	33	(▲8)

*ドクタープログラム社は決算変更の影響(前年の連結対象期間;14ヶ月)

●その他

16億円

(+4)

◆原価率:前年比 2.9ポイント低下 (40.5%→37.6%)

低下要因:ペンタサ自社製造、ウリトスの売上増加等に伴い低下

◆研究開発費率:前年比 0.2ポイント増加(11.6%→11.8%)

研究開発費:105億円→118億円(約13億円増加) 増加要因:日清キョーリン製薬の統合

◆販管費率(除くR&D費):前年比 0.8ポイント低下(38.1%→37.3%)

販管費(除くR&D費):346億円→372億円(約26億円増加)

日清キョーリン製薬の統合による影響などにより販管費(除くR&D費)は増加したものの、売上増加により販管費率(除くR&D費)は0.8ポイント低下

■ 営業利益

133億円

(+43)

*営業利益率は13.3%と3.5ポイント上昇

■ 当期純利益

88億円

(+68)

■ 配当 50円00銭(配当性向42.2%)

主な子会社の業績と予想

単位:億円

杏林製薬	2009年3月期	2010年3月期
売上高	780	853
営業利益	85	131
当期純利益	40	95

2011年3月期(予想)
873
123
84

キョーリンリメディオ	2009年1月期	2010年3月期 ^{※2}
売上高	74	101
営業利益	▲4	4
当期純利益	▲6	4

2011年3月期(予想)
89
2
1

ドクタープログラム	2009年3月期 ^{※1}	2010年3月期
売上高	41	33
営業利益	1	▲1
当期純利益	1	▲1

2011年3月期(予想)
37
2
2

※1:ドクタープログラムの2009年3月期業績は決算期変更に伴い14ヶ月分を計上

※2:キョーリンリメディオの2010年3月期業績は決算期変更に伴い14ヶ月分を計上

開発品一覧①(2010年5月11日現在)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph III (09年12月)		ペンタサ錠	潰瘍性大腸炎	フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法用量 (1日1回投与)	
Ph II (05年3月)	エーザイ:Ph III	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本 住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞 内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害を 改善する	・大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ) ・Ph II b(07年9月)開始
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑え ることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が 少ない糖尿病治療が期待される	・海外Ph II b開始 (09年11月) ※国内Ph II b終了 (10年3月)
Ph II (08年8月)	(米国) アボット:申請中 (09年3月) ※(欧州) ムンディファーマ :申請(10年3月)	KRP-108	気管支喘息 治療剤	スカイ ファーマ社	ステロイド及び長時間作動型β作動薬の配合剤で利便 性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社と ライセンス契約(08年4月) ※国内Ph II 終了 (10年4月)

※:前回(2010年3月期第3四半期)からの変更点を示す

その他の事項

- ・過活動膀胱治療剤「イミダフェナシン(一般名)」の口腔内崩壊錠 : 2009年12月 承認申請
- ・気道粘液調整・粘膜正常化剤「ムコダインDS50%」 : 2010年1月 承認取得

開発品一覧②(2010年5月11日現在)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※Ph I 準備中	Ph I (07年7月)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティス社と ライセンス契約(06年2月)
	※Ph I 準備中	KRP-110	オピオイド誘発性 便秘 難治性掻痒	自社	選択性の高いμオピオイド受容体拮抗薬。オピオイド鎮痛薬の鎮痛作用には影響することなく、副作用の便秘を改善することが期待される。また、種々の掻痒モデルにおいて掻き行動の抑制作用が確認されており、難治性掻痒の改善が期待される。	

※: 前回(2010年3月期第3四半期)からの変更点を示す

※塩酸アモロフィンネイルラッカー及びKRP-105については開発戦略上の観点から開発中止とし、開発品一覧から削除しました

※当決算期よりこれまでの開示基準を一部変更し、臨床入りを決定した開発候補品以降の化合物を開示することといたしました。

KRP-107、KRP-109につきましては開発は継続しますが、開発一覧より除きます

導入品

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※Ph II 準備中	Ph III (Merz社)	KRP-209	耳鳴	Merz社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月) *メルツ社:日本人を 対象とした米国でのPh I を終了(10年3月)

開発品一覧③(2010年5月11日現在)

導出品の状況

※: 前回(2010年3月期第3四半期)からの変更点を示す

製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	国内PhⅢ (07年7月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外PhⅡ (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、 韓国、台湾を除く全世界における独占的 な開発、製造販売権を供与(04年10月) 08年4月 PhⅡの結果を公表
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外PhⅢ (気管支喘息: 06年11月) 海外PhⅡ/Ⅲ (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎:07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息:海外PhⅢ一旦停止
KRP-203	スイス ノバルティス社	海外PhⅠ (07年7月)	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	・移植用の免疫調整剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤と して、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(なお、炎症性腸疾患用剤と しては、全世界の権利を留保している)を供与 (06年2月)

損益計算書の概要：連結①



(単位:百万円)

	09年3月期		10年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	90,889	100.0%	99,764	100.0%	9.8%	8,874
新医薬品	75,690	83.3%	82,395	82.6%	8.9%	6,705
国内	71,935	79.1%	79,766	80.0%	10.9%	7,831
海外	3,755	4.1%	2,629	2.6%	▲30.0%	▲1,126
後発医薬品	6,264	6.9%	8,642	8.7%	37.9%	2,377
ヘルスケア	7,725	8.5%	7,157	7.2%	▲7.4%	▲568
その他	1,208	1.3%	1,569	1.6%	29.9%	360

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社7社：杏林製薬(株) (株)杏文堂
 キョーリンリメディオ(株)
 ドクタープログラム(株) Kyorin USA, Inc.
 Kyorin Europe GmbH ActivX Biosciences, Inc.

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

対前年

■ 売上高 99,764百万円 (+8,874百万円)

● 国内新医薬品 79,766百万円 (+7,831百万円)

09.3実績 10.3実績(億円)

- ・キプレス 252 → 292 (+40)
- ・ペンタサ 157 → 194 (+37)
- ・ムコダイン 206 → 209 (+3)
- ・ウリトス 20 → 37 (+17)

● 海外新医薬品 2,629百万円 (▲1,126百万円)

- ・ガチフロキサシン 25 → 22 (▲3)
- * ザイマー \$101MM⇒\$98MM ロイヤルティ収入の減少
(為替変動の影響等)

ActivX社の売上減少等

● 後発医薬品 8,642百万円 (+2,377百万円)

- * 追補品・重点商品等による売上増加
- * 決算期の変更：連結対象期間14ヵ月

● ヘルスケア 7,157百万円 (▲568百万円)

- ・ミルトン 18 → 19 (+1)
- ・ドクタープログラム社 41 → 33 (▲8)

* 決算期の変更：前年の連結対象期間14ヵ月

● その他 1,569百万円 (+360百万円)

損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	09年3月期		10年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	90,889	100.0%	99,764	100.0%	9.8%	8,874
売上原価	36,791	40.5%	37,477	37.6%	1.9%	686
売上総利益	54,098	59.5%	62,287	62.4%	15.1%	8,188
販売費及び 一般管理費 (うち研究費)	45,146 (10,531)	49.7% 11.6%	49,025 (11,807)	49.1% 11.8%	8.6% (12.1%)	3,878 (1,275)
営業利益	8,952	9.8%	13,261	13.3%	48.1%	4,309
営業外収益	807	0.9%	1,092	1.1%	35.4%	285
営業外費用	550	0.6%	120	0.1%	▲78.2%	▲430
経常利益	9,208	10.1%	14,234	14.3%	54.6%	5,026
特別利益	203	0.2%	49	0.0%	▲76.0%	▲154
特別損失	4,564	5.0%	301	0.3%	▲93.4%	▲4,263
税金等調整前 当期純利益	4,847	5.3%	13,982	14.0%	188.5%	9134
法人税・住民税 及び事業税	2,727	3.0%	5,518	5.5%	102.3%	2,790
法人税等調整額	82	0.1%	▲385	▲0.4%	—	▲467
当期純利益	2,037	2.2%	8,848	8.9%	334.3%	6,811

<当期のポイント>

対前年

◆原価率：前年比2.9ポイント低下 (40.5%⇒37.6%)

低下要因：ペンタサ自社製造に伴い低下

◆研究開発費率：前年比0.2ポイント上昇

*105億円⇒118億円(約13億円上昇) (11.6%⇒11.8%)

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.8ポイント低下

(38.1%⇒37.3%)

*346億円⇒372億円(約26億円増加)

日清キョーリン製薬の統合などにより販管費(除R&D費)は増加したものの、売上増加により販管費率(除R&D)は0.8ポイント低下

■営業利益 133億円

◆営業利益率は13.3%と3.5ポイント上昇

■当期純利益 88億円

■配当 50円00銭

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	09年3月期		10年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	75,140	60.3%	91,060	66.4%	15,920
現金および預金	12,223		20,193		
受取手形及び売掛金	35,615		36,859		
有価証券	3,500		5,353		
棚卸資産	18,187		21,874		
その他流動資産	5,613		6,779		
固定資産	49,412	39.7%	46,129	33.6%	▲3,282
有形固定資産	17,122		15,825		
無形固定資産	1,632		1,024		
投資その他	30,657		29,278		
資産合計	124,552	100.0%	137,190	100.0%	12,637
流動負債	21,715	17.4%	26,198	19.1%	4,483
支払手形及び買掛金	8,258		9,858		
その他流動負債	13,456		16,340		
固定負債	6,336	5.1%	6,079	4.4%	▲256
負債合計	28,051	22.5%	32,278	23.5%	4,227
株主資本	97,513	78.3%	104,907	76.5%	7,394
評価・換算差額等	▲1,012	▲0.8%	3	0.0%	1,015
純資産合計	96,501	77.5%	104,911	76.5%	8,410
負債及び純資産合計	124,552	100.0%	137,190	100.0%	12,637

<当期のポイント>

■ 流動資産： 15,920百万円増

- ・現金、預金の増加 (7,970百万円増)
- ・受取手形、売掛金の増加 (1,244百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (3,686百万円増)

■ 固定資産： 3,282百万円減

- ・有形固定資産の減少 (1,296百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (608百万円減)
- ・投資その他の減少 (1,378百万円減)

■ 流動負債： 4,483百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加(1,600百万円増)
- ・その他流動負債の増加 (2,883百万円増)

■ 固定負債： 256百万円減

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>

(単位:百万円)

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期		11年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	10,107	8,609	10,826	10,531	11,807	12.1%	13,400
設備投資	4,605	2,954	1,952	1,612	1,291	▲19.9%	1,700
減価償却費	3,646	4,544	4,536	3,799	2,810	▲26.0%	2,600

<設備投資の状況(実績/予想)>

(実績)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

10年3月期実績

7億円

2億円

4億円

11年3月期予想

8億円

5億円

4億円

(予想)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

主要製品売上の状況

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期		11年3月期 (予想)	
					実績	前 同 比		
国内新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	134	150	191	252	292	15.9%	314
	ムコダイン (去痰剤)	199	204	212	206	209	1.5%	214
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	73	80	88	157	194	23.9%	201
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	63	58	54	50	46	▲7.2%	40
	ウリス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	—	—	7	20	37	88.6%	51
	アプレース (抗潰瘍剤)	24	20	18	15	14	▲9.3%	11
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	22	19	18	15	14	▲9.1%	12
海外新医薬品	海外売上合計	86	58	43	38	26	▲30.0%	18
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	67	32	30	25	22	▲10.4%	13
	海外売上比率	11.6%	7.5%	5.4%	4.1%	2.6%	—	1.8%
ヘルスケア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	21	21	19	18	19	2.6%	21

(単位:億円)

主な業績項目の推移: 連結

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期(予想)	(単位: 百万円)
売上高 (輸出高)	74,054 (8,575)	77,093 (5,762)	81,070 (4,367)	90,889 (3,830)	99,764 (2,693)	100,300 (1,800)	
売上原価 (売上原価率)%	26,515 (35.8%)	30,620 (39.7%)	31,757 (39.2%)	36,791 (40.5%)	37,477 (37.6%)	—	
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	38,549 (52.1%)	38,059 (49.4%)	43,061 (53.1%)	45,146 (49.7%)	49,025 (49.1%)	—	
うち研究開発費 (研究開発费率)%	10,107 (13.6%)	8,609 (11.2%)	10,826 (13.4%)	10,531 (11.6%)	11,807 (11.8%)	13,400 (13.4%)	
営業利益 (営業利益率)%	8,989 (12.1%)	8,413 (10.9%)	6,251 (7.7%)	8,952 (9.8%)	13,261 (13.3%)	12,700 (12.7%)	
経常利益 (経常利益率)%	9,465 (12.8%)	8,655 (11.2%)	6,643 (8.2%)	9,208 (10.1%)	14,234 (14.3%)	13,400 (13.4%)	
当期純利益 (当期純利益率)%	5,228 (7.1%)	4,842 (6.3%)	2,189 (2.7%)	2,037 (2.2%)	8,848 (8.9%)	8,500 (8.5%)	
一株当たり当期利益(円)	69.74円	64.97円	29.26円	27.24円	118.37円	113.72円	
資本金	4,317	700	700	700	700		
総資産	121,044	124,039	122,398	124,552	137,190		
株主資本	94,752	96,922	96,401	97,513	104,907		
純資産	—	98,178	97,184	96,501	104,911		
一株当たり純資産(円)	1,275.15円	1,311.17円	1,298.89円	1,290.67円	1,403.60円		
自己資本利益率%	5.6%	5.0%	2.2%	2.1%	8.8%		
自己資本比率%	78.3%	79.2%	79.4%	77.5%	76.5%		
人員(人)	1,823人	1,932人	2,003人	2,247人	2,246人		
設備投資	4,605	2,954	1,952	1,612	1,291	1,700	
減価償却費	3,646	4,544	4,536	3,799	2,810	2,600	

* 06年3月期業績までは杏林製薬(株)の連結数値、07年3月期以降の業績及び11年3月期予想は(株)キョーリンの連結数値を示す

損益計算書の概要：杏林製薬単体－①

(単位：百万円)

	09年3月期		10年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	77,962	100.0%	85,308	100.0%	9.4%	7,346
新医薬品	75,083	96.3%	82,330	96.5%	9.7%	7,246
国内	71,935	92.3%	79,766	93.5%	10.9%	7,831
海外	3,148	4.0%	2,563	3.0%	▲18.6%	▲584
後発医薬品	251	0.3%	394	0.5%	57.1%	143
ヘルスケア	2,627	3.4%	2,583	3.0%	▲1.7%	▲43

<当期のポイント>

対前年

■ 売上高 85,308百万円 (+7,346百万円)

● 国内新医薬品 79,766百万円 (+7,831百万円)

09.3実績 10.3実績 (億円)

・キプレス 252 → 292 (+40)

・ムコダイン 206 → 209 (+3)

・ペンタサ 157 → 194 (+37)

・ウリトス 20 → 37 (+17)

● 海外新医薬品 2,563百万円 (▲584百万円)

・ガチフロキサシン 25 → 22 (▲3)

* ザイマー \$101MM⇒\$98MM ロイヤルティ収入の減少
(為替変動の影響等)

● 後発医薬品 394百万円 (+143百万円)

● ヘルスケア 2,583百万円 (▲43百万円)

・ミルトン 18 → 19 (+1)

損益計算書の概要：杏林製薬単体－②

(単位：百万円)

	09年3月期		10年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	77,962	100.0%	85,308	100.0%	9.4%	7,346
売上原価	29,551	37.9%	28,374	33.3%	▲4.0%	▲1,176
売上総利益	48,411	62.1%	56,934	66.7%	17.6%	8,523
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	39,894 (10,056)	51.2% 12.9%	43,795 (11,121)	51.3% (13.0%)	9.8% (10.6%)	3,900 (1,064)
営業利益	8,517	10.9%	13,139	15.4%	54.3%	4,622
営業外収益	998	1.3%	1,497	1.8%	50.0%	499
営業外費用	52	0.1%	56	0.1%	8.1%	4
経常利益	9,463	12.1%	14,580	17.1%	54.1%	5,117
特別利益	176	0.2%	37	0.0%	▲78.5%	▲138
特別損失	2,823	3.6%	112	0.1%	▲96.0%	▲2,711
税引前当期純利益	6,816	8.7%	14,506	17.0%	112.8%	7,690
法人税・住民税 及び事業税	2,617	3.3%	5,452	6.4%	108.4%	2,835
法人税等調整額	157	0.2%	▲419	▲0.5%	—	▲576
当期純利益	4,041	5.2%	9,472	11.1%	134.4%	5,430

<当期のポイント>

対前年

◆原価率：前年比4.6ポイント減少 (37.9%⇒33.3%)

低下要因：ペンタサ自社製造等に伴い低下

◆研究開発費率：前年比0.1ポイント増加

* 101億円⇒111億円(約10億円増加) (12.9%⇒13.0%)

◆販管費率(除R&D費)：横ばい

(38.3%⇒38.3%)

* 298億円⇒327億円(約29億円増加)
日清キョーリン製薬の統合等

■営業利益 131億円

◆営業利益率は15.4%と4.5ポイント上昇

■当期純利益 95億円

貸借対照表の概要：杏林製薬単体

(単位:百万円)

	09年3月期		10年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	64,822	59.7%	78,422	65.4%	13,599
現金および預金	8,615		15,313		
売掛金	32,018		33,088		
有価証券	3,437		5,290		
棚卸資産	15,684		19,147		
その他流動資産	5,066		5,581		
固定資産	43,699	40.3%	41,400	34.6%	▲2,299
有形固定資産	13,789		12,847		
無形固定資産	486		328		
投資その他	29,423		28,225		
資産合計	108,522	100.0%	119,822	100.0%	11,300
流動負債	14,593	13.5%	19,003	15.9%	4,410
支払手形及び買掛金	5,423		6,849		
その他流動負債	9,170		12,154		
固定負債	5,457	5.0%	5,312	4.4%	▲144
負債合計	20,051	18.5%	24,316	20.3%	4,265
株主資本	89,328	82.3%	95,384	79.6%	6,056
評価・換算差額等	▲857	▲0.8%	120	0.1%	978
純資産合計	88,470	81.5%	95,505	79.7%	7,034
負債及び純資産合計	108,522	100.0%	119,822	100.0%	11,300

<当期のポイント>

- 流動資産： 13,599百万円増
 - ・現金及び預金の増加 (6,698百万円増)
 - ・売掛金の増加 (1,070百万円増)
 - ・棚卸資産の増加 (3,463百万円増)
- 固定資産： 2,299百万円減
 - ・有形固定資産の減少 (942百万円減)
 - ・無形固定資産の減少 (158百万円減)
 - ・投資その他の減少 (1,198百万円減)
- 流動負債： 4,410百万円増
 - ・支払手形及び買掛金の増加 (1,426百万円増)
 - ・その他流動負債の増加 (2,984百万円増)
- 固定負債： 144百万円減少

主な業績項目の推移: 杏林製薬単体

(単位: 百万円)

	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期
売上高 (輸出高)	67,357 (8,331)	66,052 (5,521)	70,480 (4,155)	77,962 (3,148)	85,308 (2,563)
売上原価 (売上原価率)%	21,821 (32.4%)	23,815 (36.1%)	25,217 (35.8%)	29,551 (37.9%)	28,374 (33.3%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	36,762 (54.6%)	34,623 (52.4%)	38,319 (54.4%)	39,894 (51.2%)	43,795 (51.3%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	10,013 (14.9%)	8,216 (12.4%)	9,959 (14.1%)	10,056 (12.9%)	11,121 (13.0%)
営業利益 (営業利益率)%	8,773 (13.0%)	7,613 (11.5%)	6,942 (9.8%)	8,517 (10.9%)	13,139 (15.4%)
経常利益 (経常利益率)%	8,377 (12.4%)	7,615 (11.5%)	7,328 (10.4%)	9,463 (12.1%)	14,580 (17.1%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,771 (7.0%)	4,697 (7.1%)	3,776 (5.4%)	4,041 (5.2%)	9,472 (11.1%)
一株当たり当期利益(円)	63.64円	63.25円	50.85円	54.42円	127.54円
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	111,978	106,042	104,910	108,522	119,822
株主資本	92,525	85,706	86,140	89,328	95,384
純資産	—	86,797	86,792	88,470	95,505
一株当たり純資産(円)	1,245.22円	1,168.71円	1,168.63円	1,191.24円	1,285.95円
自己資本利益率%	5.3%	5.2%	4.4%	4.6%	10.3%
自己資本比率%	82.6%	81.9%	82.7%	81.5%	79.7%
人員(人)	1,502人	1,488人	1,517人	1,716人	1,724人
設備投資	4,455	1,322	1,350	969	1,051
減価償却費	3,307	3,997	3,844	3,042	2,198

11年3月期
(予想)

87,300
(1,600)

—

—

12,600
(14.4%)

12,300
(14.1%)

13,300
(15.2%)

8,400
(9.6%)